

平成 23 年度返還促進策等検証委員会 今後の予定（案）

【第1回】

平成 23 年 11 月 29 日(火)

1. 平成 23 年度返還促進策の概要等について

2. 今年度の主な審議課題についての説明

(1) 総回収率 82%の妥当性の検討

①総回収率という指標の妥当性

②82%という指標の妥当性

- ・現在の総回収率が、社会一般の回収率に照らして機構の回収が低すぎるといった印象を与えるものではないか。

- ・機構の回収の特徴を踏まえた他の示し方があるのではないか。

(2) 82%の達成見込及び回収促進策の効果分析

- ・返還促進策の効果を踏まえた目標の達成見込について分析・検証を行う。

- ・達成の見込が困難である場合には、どのような要因分析があり、また、どのような改善方策が考えられるか。

(3) 今後の目標の示し方

(4) 大学・大学院等の平成 19 年度末における延滞 3 月以上延滞額を平成 23 年度末までに半減することについて

3. 民間シンクタンクによる今年度の検証及び分析方針の説明

4. その他

【第2回】

平成 24 年 1 月 16 日(月)

1. 民間シンクタンクによる回収状況分析及び検証等結果報告

(第2期中期計画に記載する総回収率の妥当性の検証、平成 24 年度回収促進策の検討)

2. 第 1 回審議課題2. (1)から(4)についての審議

3. 平成 24 年度回収促進策についての審議

4. 報告書骨子案の検討

5. その他

【第3回】

平成 24 年 2 月 8 日(水)

1. 第 1 回審議課題2. (1)から(4)についての審議

2. 平成 24 年度回収促進策についての審議

3. 報告書(案)の審議
4. コンサル分析結果の追加報告
5. その他

【第4回】

平成 24 年 3 月(予定)

1. 報告書(案)の審議
2. その他

※上記日程を予定しておりますが、変更となる場合は、あらためてご連絡いたします。